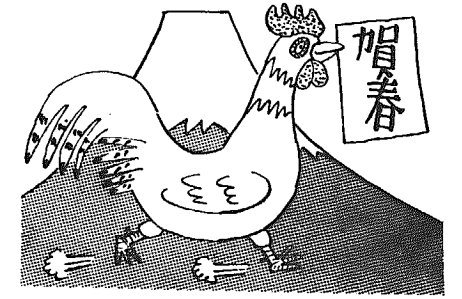


# あけましておめでと

## 「私たち酉年生れ」 新春に語る

# うございます

## 今年の抱負……

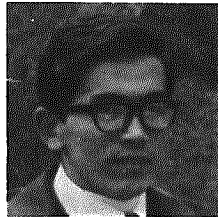


本間 尚美さん (間瀬)  
昭和32年6月2日生

### 初心 忘れることなく

「年男」とはよくいうけれど、「年女」なんていうとあまりいい響きじゃないなあ……。  
自分自身もう二廻りめの「年女」だなんてんだか信じられないような気分ですが時は止まることなく動き続けているのですものね。とり年だからというわけではないけれど、今年はその時間をもっと見つけてみたい。ただ時間におし流されて生きてゆくだけではなく自分なりに満足できる時間

をつくりだしたいと思っています。今年には本当にハッピーになれそうさ。ささやかなシアワセをたくさん造りだしてゆきたいなあ。「三」という数字を大切に、「三」をステップとしてより充実した内容にしてゆきたいなあ……。とにかく、「初心」忘れることなく、一歩ずつ確かな道を歩んでみたいと思っています。



竹内 国男さん (海上)  
昭和20年1月1日生

### 一飛び 三千里の気概で

鶏は三歩あゆむと物事を忘れるといわれていますが、その反面、生物起源の代名詞のように「トリ」が先か、タマゴが先かーのことわざでも聞きなれていますね。そして「ト」の中では、仮空動物の竜を除けば、唯一の飛行動物なんです……人間はその姿を何んともうらやましくながめ、それが、飛行機の実現に大きく影響したとさえいわれているんですね。  
今年には中国の鳳凰にちなんで一

飛び三千里の気概を持って、与えられた分野にその翼を広げたいと念じているんです。  
三十六年前の酉年が不安と空腹と失望の時代であったことを教訓に村民の総意を基本とした政治を心がけてほしいですね。そして、昨年の公民館に続き待望の村民体育館もやがて完成で、楽しみになっているんです。  
今年の「酉」が景気回復の風見鶏であってほしいと願っています。



藤田 勢津子さん (和納3区)  
昭和8年1月1日生

### 大きく 羽ばたく年に

ホテルを思わせるような公民館、そして体育館、着々と立派な施設ができてきてねエー。このおなみのふるさとに夢がひろがり、明かるい健康な岩室村としての希望がだんだん大きく大きくふくらんでくるみたいで、本当にいい村になりましたね。よくわかりませんけどエネルギー問題の取り組みなんかも地域開発との関連の中で、大切なことだと思っております。とにかくね、私達一万余民のささやかな夢や福祉がすすみますで

ゆきとどく行政であってほしいと思っております。  
広報の録音奉仕ですか、もちろん今年も続けますよ、できたら小説の録音もなんとかしてみようと考えているんです。そのためにいろいろ勉強もしなくては……。  
とり年のように大きく羽ばたいて、スポーツに音楽と何んでもやってみる、そして私が私でなければできない充実した人生をおくりたいわ、なんて欲ばっているんです。

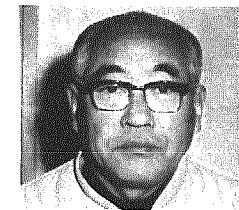
あけましておめでとうございませう。昭和五十六年の新春をみなさまとんな抱負をもって迎えられたでしょうか、賀状が届き、旧友をなつかしんだり、お子さまや、お孫さんにお年玉をさいそくされたり、楽しいお正月のことと思います。さて、今年は何(と)り年です、そこで「こしはわが年」と大いに張りきってこの六人のとり年生れのみなさんに新春の抱負などについて話しをうかがってみました。  
今年も何かと厳しい年明けとなりましたがとりにあやかり、コツコツと着実に前進する年にしたいものです。  
何はともあれ、本年も健康で元気ががんばりたいものです。



阿部 キヨ子さん (間瀬)  
昭和8年4月28日生

### コツコツと 着実に

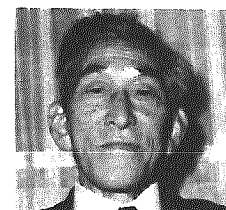
今年には私にとって四回目の酉年なんです……早いもんですねエー、自分では歳をとった実感感なんてないんですが、気持だけはこれでも二十代のつもりでいるんですよ……。  
酉年を迎えるたびに間瀬も変わってきたりね、なんというか、静かな小さな漁村が一変してにぎやかな観光地に変化してきているでしょう。  
間小で用務員の仕事をしています



山添 治一郎さん (和納12区)  
大正10年1月22日生

### 釣りが生きがい

イヤー、あけましておめでとうございませう。昭和五十六年の新春、実にさわやかですナァー。  
今年には私の「酉」ですね。新たな気持でまたがんばろうと誓ったんです……岩室村の住民になつてまだ日も浅いんですが、このすばらしい環境はいいですね。空気もうまいし、自然は豊です……。  
昨年まで区長をさせていただきました。三度のめしより好きなヘラブナつりに出かける機会もなかったんですが、今年には十分に楽しめよう



池田 栄一さん (岩室)  
明治42年8月20日生

### 健康第一に

毎日、鶏の一声で朝六時前には起きるんです、晴れた日なんか、庭に出て松岳山に向って深呼吸するんですが、その気分そう微かなと、四季によって変化する微妙な緑の変化、自然は本当にすばらしいと思います。  
今年の抱負ですか、そうですねエーなんといっても健康ですよ。そして元気に老人クラブの仲間と話し合ったり、草とりなどのやれる奉仕活動で汗をながすこと

です。今年には十分に楽しめようです、今から腕がなっていますナァー  
行政に望むことですか、そうですねエー、この団地の街づくりのために行政の力をかしてほしいことと、大きくは、地場産業の育成と景気浮揚策を積極的に進めてほしいことですね。あとはいろいろとはありません。昨年娘を嫁がせましたね、その分、このダルマインコと犬がなぐさめてくれるんです。今年もがんばりましょう。

### △豆知識△

## 今年 とり年

サル年が去って、今年にはとり年。  
とり年は、十二支の十番目の「酉」にニワトリをあてはめたものですが、考えてみるとちょっとゆかしいのは、昔「酉の刻」といわれた時刻が、今の午後六時ごろと、その前後約二時間、どう考えても夜明けをつげるニワトリにはふさわしくないこと

です。  
また「酉の方角」というのは西の方だそうですが、ニワトリという何となく日の出る方向、つまり東の方向がにちやうよに思えるのです。それはともかく、ニワトリと人間とのつき合いは古く、インドでは紀元前一七〇〇年ごろにはすでに畜養化され、その後各地に広まったといわれておき、日本には中国・朝鮮半島を経て伝わり、有名な天の岩戸の神話にニワトリが発揚していることはよく知られています。  
ともあれ、本年もよい年でありませう。

す。素朴な希望ですよ、そうそう公民館で行っている高令者学級への参加も楽しみの一つです。  
今年には体育館も完成するし、道路も立派になるほど環境整備も着々進められたいと思っています。  
ただね、欲をいえば、我々高令者に対する生きがい対策をもっと具体的な事業を示して取りくんではほしいと思っています。